

1/25 自慢の芸能や作品を披露しました

かんおんじ市民大学芸能発表会が共同福祉施設でありました。気持ちを一つに仲間と楽しそうに歌う合唱や動きのそろった民謡、アツと驚くマジック、2人の息の合った社交ダンス等、55人の講座生が練習の成果を披露しました。また、働く婦人の家では風景を詠んだ俳句や手塩に掛けて育てた盆栽、優しいタッチの絵手紙等が展示され、来場者の目を楽しませていました。



作品展 1月24日～26日

2/3 教育振興に貢献した人たちを表彰

平成29年度教育功労賞・教育奨励賞の表彰式が中央図書館多目的ホールでありました。毎年1回教育の振興に貢献し、他の模範となる人たちに贈られる賞で、今年度は個人29人と3団体を表彰。部活動等で優れた成績を収めた児童・生徒や長年にわたり教育行政やスポーツ、青少年健全育成等の分野で貢献した受賞者に教育委員会から表彰状を贈り、功績をたたえました。



観音寺市教育委員会 教育功労賞 教育奨励賞 表彰式

2/6～3/5 市の魅力を再発見！入賞作品を展示

平成29年度観音寺市観光協会オールシーズンフォトコンテストの入賞作品が大野原支所1階ロビーで展示され、銭形砂絵や豊稔池堰堤など市の魅力が詰まった写真が来庁者の目を楽しませていました。147点から選ばれた17点の作品は、なじみの風景を美しく引き出したものばかり。訪れた人たちは「きれいなあ、どこから撮影したのかな」と作品に見入っていました。



この後、ちょうさ会館（3月7日～4月3日）、観音寺市総合コミュニティセンター（4月4日～5月2日）に展示されます

1/30 こま回しの技を教えてもらったよ

こま回しの名人、森川さんを招いて、観音寺保育所でこま回し大会がありました。こまの綱渡りや手のひら、お盆の上で回す技に、子どもたちは身を乗り出しながら「うわあ、すごい」「もう一度見たい」と大歓声。また、ひもの巻き方や上手に回すコツを教わりながら何度も練習し「初めてこまを回すことができてうれしかった」と子どもたちは目を輝かせていました。



2/4 仲間と心を一つに音楽を届けます

子どもから大人まで市民自らが作り上げる、市民が主役の観音寺市民音楽祭がハイスターホール（観音寺市民会館）であり、20団体が参加しました。練習を共にしてきた仲間と息を合わせて、美しい歌声や迫力ある演奏を披露。来場者は懐かしい歌に思わず口ずさんだり、じっくりと聴き入ったり、ホールいっぱいに広がる音楽の世界を楽しみました。



2/12 太鼓作りに苦戦しつつも、いい音に感激

ちょうさの文化に触れるイベントがちょうさ会館であり、約20組の子どもと保護者が太鼓作りに挑戦しました。太鼓の胴にボイド管（紙筒）を、皮の部分には合成紙を使い、ひもで締めて固定していき完成後には太鼓の音色を楽しみました。他にも篠笛奏者、森田玲さんのちょうさの起源に迫る講演会や祭りの映像上映会もあり大勢の家族連れでにぎわいました。



かんおんじタウン情報

1/15 土壌還元消毒で安全に育ったレタスです

観音寺市の農林水産物やそれらの加工品を認証することで、消費と販路の拡大を図る観音寺ブランド認証制度。今回認証された「らりるれロメイン」は、葉が肉厚で食感が良く、甘味と苦味のバランスが取れたレタスです。らりるれロメインぶきやい代表の近藤さんは「認証されて大変うれしい。産地日本一を目指して作付面積を広げたい」と意気込みを語ってくれました。



1/20 楽しかったよ たこ作り、たこ揚げ

ほっとはうす秋で、親子工作教室「ぐにゃぐにゃ風を作ろう」があり、14組の親子がたこ作りに挑戦しました。「何を描こうかな」「うまく描けたよ」と、好みの動物やキャラクターの絵を描いたビニールに竹ひごの骨組みを貼り付け、最後に尾をつけて完成。保護者にたこを持ってもらい運動場を駆け回り、風に飛んで高く空に舞い上がると、歓声が上がっていました。



1/16 兄弟で入賞を目指します！

第1回W・K・Oジャパンアスリートカップ本大会（空手道）に出場する石川叶大さん、烈己さん（ともに一道会館）の激励会がありました。白川市長は「体調を整えて、好成績を残せるよう頑張ってください」と激励。四国ブロック代表で全国大会に挑む2人は「得意技で一つでも多く勝ち上がります」「弟と一緒に入賞を目指します」と力強く決意を述べました。



1/24 歯に興味を持ち規則正しい生活を！

65歳からの介護予防教室（さわやか教室）が大野原いきいきセンターで開かれました。口の健康をテーマに、9月から4回にわたり歯科衛生士が歯磨きや健口体操を指導し、最初と今回（4回目）の口の中の衛生状態や食事の食べやすさを比較しました。参加者らは「家でも取り組んだ結果、良くなっていた。これからも続けていきたい」と口腔機能の向上を実感していました。



1/25 地域の大切な文化財を守ろう！

「文化財防火デー」（毎年1月26日）を前に、木之郷町の千尋神社で文化財防火訓練があり、三観広域南消防署と観音寺市消防団木之郷分団は、奥池や境内の消火栓を消防水利として、延焼を防止するための放水訓練をしました。また木之郷町自主防災会は、文化財の搬出や初期消火訓練に取り組み、寒風吹きすさぶ中、有事に備えた動きを確認していました。



SOSとキャラ※ ～高校生との意見交換会「聴き語りの会」～

青少年育成観音寺市民会議は、平成29年度「ひとのつながりで子どもを育てる～SOSに気づくために～」をテーマに活動しています。1月17日、観音寺マナーアップの会会員と観音寺第一・観音寺総合高等学校の生徒会役員が「SOSを出したいとき（困った時や相談したいとき）にキャラは関係するのか」について意見交換を行いました。そのあと法務教官より助言をいただきました。

高校生の意見紹介

- キャラは常の自分を表現するものであり、どんなときでも自分は変わらない。人によって変えるのは相手に失礼。
- 教室や部活動で友達と関わる時や、大人と対応するときなど、その場に依りてキャラを使い分ける。
- 性格や趣味、話が合うことで友達になることが多いが、キャラは付き合っているうちにグループの中でつくられる。
- いじりといじめの境界は人によって違うが、本人が「嫌、辛い」周りが「やめたらええのに」と思えばいじめ。
- ここまでが限界だと分かってくれる本当の友達のつながりがあれば、そのグループの中でいじられ役になれる。
- 嫌と言えない、SOSを出せないキャラもあるが、本当に困ったときにはキャラにこだわらず、素の自分を出せる必要がある。そのつながりが「イヤ」と言う勇気をくれる。



少年院法務教官 長尾貴志先生からの助言

周りの目を気にして、相手に認めてもらうためにキャラを作っていると、本当の自分が分からなくなる。耐えられなくなったときにSOSが出せない。無理と思ったときに「ムリ」と言えない。これが少年院の子どもたちの特徴。「大丈夫です」と言ったとき、それは強がりなのか、本心なのかに気づき合える関係や、「ほっといてほしいけど、ほっといてほしくない」気持ちに付き合ってくれる友達を大切にしてほしい。

家族や友達、同僚、仲間、地域など、素の自分を出せる場所はどこですか？それは、顔が見える関係の中でつくられていくものです。

※キャラとは…キャラクター（性格、人格）を省略した若者言葉。

問い合わせ先

青少年育成センター ☎25-4251

男女共同参画

育児と介護のダブルケア

企画課男女共同参画推進室 ☎23-3917

育児と同時に親の介護も担うことをダブルケアといいますが、以前に比べ晩婚化が進み、高齢出産が増えたことなどから、ダブルケアを経験する人が増えていると考えられています。内閣府の「育児と介護のダブルケアの実態に関する調査」によると、ダブルケアを行っている人は約25万人と推定され、平均年齢は40歳前後となっています。その内訳を男女別にみると、女性が約17万人、男性が8万人となっており、女性の方が多くの負担を抱えています。また、ダブルケアを行っている人のうち、男性は9割以上、女性は約半数が働いており、ダブルケアに直面する前後で「仕事の業務量や労働時間を変えなくてすんだ」人の割合は、男性約48%、女性は30%にとどまっています。一方「仕事の

業務量や労働時間を減らした」人の割合は、男性は約18%に対し、女性は倍以上の約38%にもなっています。さらに、ダブルケアになった場合、男性の2・6%、女性の17・5%は退職しています。特に女性は6人に1人が離職に追い込まれるなど、男性に比べて仕事に大きな影響を受けていることが分かります。ダブルケアを行う世代は30歳～40歳の働き盛りです。離職すると経済的な不安を抱えたり、キャリアが中断したりします。働き続けたいと望む人が、育児や介護をしながらも働き続けられるように、多様な柔軟な働き方ができる制度や環境の整備とともに、家庭において性別に関わらず役割を分担し、協力することが大切です。



予防接種を受け忘れていませんか？ 公費助成期限は3月31日まで

麻しん風しん混合2期ワクチン

対 平成23年4月2日生～平成24年4月1日生
高齢者肺炎球菌予防接種

対 下表の年齢に該当する人で、過去に肺炎球菌予防接種を受けたことがない人

年齢	生 年 月 日
65歳	昭和27年4月2日生～昭和28年4月1日生
70歳	昭和22年4月2日生～昭和23年4月1日生
75歳	昭和17年4月2日生～昭和18年4月1日生
80歳	昭和12年4月2日生～昭和13年4月1日生
85歳	昭和7年4月2日生～昭和8年4月1日生
90歳	昭和2年4月2日生～昭和3年4月1日生
95歳	大正11年4月2日生～大正12年4月1日生
100歳	大正6年4月2日生～大正7年4月1日生

問 健康増進課母子保健係 ☎23-3964



時 日時 所 場所 内 内容 対 対象
数 募集人数 持 持参物 料 料金 受 受付期間
主 主催 申 申込先 注 注意 問 問合先

3月1日～7日は
子ども予防接種週間

入園や入学など新しい生活が始まる前に体調を整え、予防接種を受けてください。各医療機関で接種日時を確認し、事前予約をしてください。

問 健康増進課母子保健係 ☎23-3964

平成30年度 一般介護予防教室のご案内



地域包括支援センターでは、65歳以上の皆さんが住み慣れた地域で心も身体も元気に生活できるよう、介護予防教室を開催しています。毎日の生活に運動や脳トレを取り入れ、健康長寿を目指していきいきと生活を送るきっかけになるよう、一緒に楽しい時間を過ごしませんか。

【運動教室】 対象：65歳以上 受講料：無料

教室名	場 所	日 程	強 度	定 員	時 間
シニアエアロビクス	豊浜福祉会館	第2火曜日	★★★	60人	午後1時30分～午後3時
のびのび教室①	共同福祉施設(軽運動室)	第3金曜日	★★★	60人	
のびのび教室②	共同福祉施設(軽運動室)	第4火曜日	★★★	60人	
のびのび教室③	共同福祉施設(軽運動室)	第4金曜日	★★★	60人	
のびのび教室④	共同福祉施設(軽運動室)	第4水曜日	★	60人	
のびのび教室⑤	大野原いきいきセンター	第1月曜日	★	50人	
のびのび教室⑥	大野原いきいきセンター	第2木曜日	★★★	50人	
のびのび教室⑦	豊浜福祉会館	第1水曜日	★★	60人	

受付期間

3月1日(木)～7日(水)
午前8時30分～午後5時15分
(各教室とも定員になり次第、締め切り)
※必ず、本人が申し込みをしてください。
※運動教室は、いずれか1カ所のみ申し込みができます。

【元気なう(脳)～教室】 対象：65歳以上 受講料：無料

教室名	場 所	日 程	定 員	時 間
観音寺会場	市役所2階会議室	奇数月第2金曜日	50人	午後1時30分～午後3時
大野原会場	大野原中央公民館	偶数月第2金曜日	50人	

※元気なう(脳)～教室は、観音寺会場または大野原会場のいずれか1カ所のみ申し込みができます。

問い合わせ先 観音寺市地域包括支援センター ☎25-7791

三豊総合病院健康教室

●夜間糖尿病教室

時 3月8日(木) 午後6時～午後7時
内 これからの糖尿病治療、食生活のポイント

●食べて治して、ハッピーライフ

時 3月9日(金) 午前10時～正午
内 調理実習：しっかりかんで食べよう！
歯ごたえを楽しむメニュー

料 600円(実費)

注 各教室とも要予約
(調理実習は1週間前まで)

みとよサプリ

時 3月14日(水)
午後1時30分～午後2時

内 健診を受けてみよう

時 3月28日(水)
午後1時30分～午後2時

内 お口元気でいきいき生活、いきいき長生き
食事の工夫

所 三豊総合病院南棟ホール

問 申 同病院 ☎52-3366



子育て応援情報

トピックス

一時預かり保育「ひなたぼっこ」 短期移転のお知らせ

大野原保育所増築のため、同保育所で実施していた「ひなたぼっこ」を、短期間移転します。

場所や保育内容に従来と異なる点があり、ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

移転時期(予定)

3月1日(木)～4月27日(金)

移転先

ほっとはうす萩(旧萩原小学校)

変更内容

お弁当や簡単なおやつ、水筒をお持ちください。

問 子育て支援課 ☎23-3962

講座・教室

育児教室「心愛力フェ」

時 3月16日(金)

午前10時～午前11時30分

所 保健センター1階

内 親子のふれあい遊び、ママカフェ「イヤイヤ期の子どもの関わり方」、臨床心理士による子育て相談

対 3歳までの子どもと保護者

持 母子健康手帳

注 前日までに申し込みが必要

申問 健康増進課母子保健係

☎23-3964



平成29年3月生まれ
ハローキッズ!! 1歳お誕生日おめでとう!!
Hello Kids!!
平成29年6月生まれの子どもを募集します

受付 3月1日(木)から
場所 秘書課広聴広報係・大野原支所・豊浜支所・伊吹支所
申込方法 申込用紙に写真を1枚添えて持参または郵送
注意 応募多数の場合は先着順
問い合わせ先 秘書課広聴広報係 ☎23-3915



まほろ
大平 栄 誉 ちゃん
父 真さん 母 真里那さん
(豊浜町和田)



あやね
磯野 彩 音 ちゃん
父 一人さん 母 直子さん
(植田町)



つづみ
松原 鼓 実 ちゃん
父 一成さん 母 彩加さん
(瀬戸町)



ももな
藤川 桃 奈 ちゃん
父 真一さん 母 彩実さん
(大野原町青岡)



まゆ
大平 真 優 ちゃん
父 真さん 母 麻衣子さん
(大野原町萩原)



てつじ
高橋 哲 慈 ちゃん
父 直也さん 母 由香さん
(茂西町)

参加者募集 親子アート&デザイン教室

時 3月18日(日)午前10時30分～正午

所 ほっとはうす萩(旧萩原小学校)

内 板に思い思いの絵またはデザインを描く(出来上がった作品は施設内に展示)

数 親子16組(先着順) 料 無料

持 汚れてもよい服装・靴、軍手、タオル

申問 ほっとはうす萩 ☎23-6101

参加者募集 親子教室「忍者の修行」

春休みに忍者の修行を通して、心と体を鍛えませんか。

時 3月24日(土)午前10時30分～正午

所 ほっとはうす萩(旧萩原小学校)

内 忍者の衣装を作り、忍者歩きや忍者走り、壁登りやしゅりけん投げなどのさまざまな修行を行う

数 5、6歳の子どもと保護者24組(先着順)

料 200円

持 運動のできる服、上靴、運動靴

申問 ほっとはうす萩 ☎23-6101

相談

家庭 児童相談	子育ての不安、 養育困難、虐待、 家庭内の相談など	土・日曜日、祝 日を除く毎日 午前8時30分 ～午後5時	市役所 1階 家庭児童 相談室
母子・父子 自立相談	ひとり親家庭の 相談や援助、貸付 など		
児童相談 (要予約)	3月14日(水) 午後1時30分～午後4時 (県の専門相談員が対応)		
問	子育て支援課こども・女性相談係 ☎23-3957		
育児相談	3月20日(火) 午前9時30分～午前11時		保健 センター
問	健康増進課母子保健係 ☎23-3964		

観音寺市愛育会だより

愛育会わかば 会員募集

観音寺市愛育会とは

親子の健康増進を通じて、地域や家族の健康づくりを進め、自分たちの住む地域をよりよくするために、市内11地区で活動をしているボランティア団体です。

赤ちゃんから就学前の子どもを持つ親やその家族、また愛育会活動に賛同してくれる人であれば、どなたでも参加できます。

観音寺市愛育会わかばとは

子育てイベントを企画し、親子の触れ合いと同じ年齢の子どもを持つママ同士のつながりが広がるように活動しています。

主な活動は「赤ちゃん同窓会」や「1歳おめでとう会」を、年間を通じて子育て支援センター「ほっとはうす萩」で開催しています。

「赤ちゃん同窓会」への思い
○同学年になる赤ちゃんが集まることでママたちの仲間づくりにつながるように
○ママと赤ちゃんの思い出づくりの一つになるように

「1歳おめでとう会」への思い
○「赤ちゃん同窓会」から1年後の成長を喜び合い、ママ同士で子育ての喜びや苦労を共感

し、笑顔で子育てができるように

わかばの会員は、子育てを終えた人や孫がいる人、子育て中の人など、さまざまです。一緒に子育て中のお母さんたちを応援しませんか。

申し込み・問い合わせ先

愛育会事務局

(健康増進課母子保健係)

☎23-3964



愛育のひろば タッチケア&わらべうた

わらべうたを歌いながら、体に触れて心にタッチ!子どもと一緒に楽しい時間を過ごしませんか。

時 3月28日(水)

午前10時30分～午前11時30分

所 ほっとはうす萩(旧萩原小学校)

講 乾昌代先生

対 6カ月ぐらいまでの赤ちゃんとの保護者

数 30人(先着順)

料 無料

持 バスタオル、飲み物

主 愛育会

申問 愛育会事務局(健康増進課母子保健係)

☎23-3964